



録画配信はこちら

## 現場の窓口業務が一番の重点施策である

**Q** 安定した窓口業務を実施するため、議会全員協議会の出席者は、政策監以上とすべき

**A** 重要な会議の場であり、しっかりと説明ができる体制で臨む

**答** (教育次長)  
学校や保護者、地域などからの情報を基に把握している。町内小中学校、道路管理者、警察、地域住民と連携し

**問** 通学路の危険箇所、状況やアンダーパスの安全対策は。  
**答** (総務政策監)  
住民ニーズの大きさについては、数字に表れにくいので、非常に難しい。予算査定で十分に聞き取りをしている。限られた財源の中で、様々な角度から総合的に判断した。

### 通学路の安全対策は

**問** 住民ニーズに対する予算査定の判断  
**答** (建設・下水道課長)  
当町のアンダーパスは長野地先に一カ所ある。台風や各警報時には、事前にパトロール等を行い、状況確認している。年一回の点検をしており、最近では注意喚起の看板を設置した。

**問** 長期休暇中の子どもの居場所は  
**答** (福祉政策監)  
保護者の就労などで恒常的に保育を必要とする児童から順に入所決定を行っており、長期休暇だけを希望される場合で入所ができないときは、やすらぎ学童保育所やスポーツ学童保育所を利用いただいている。どうしても小学校区の学童保育所の利用を希望される場合は、お待ちいただく場合がある。



国道8号線を横断する長野地先のアンダーパス

**問** 長期休暇中の子どもの居場所は  
**答** (福祉政策監)  
保護者の就労などで恒常的に保育を必要とする児童から順に入所決定を行っており、長期休暇だけを希望される場合で入所ができないときは、やすらぎ学童保育所やスポーツ学童保育所を利用いただいている。どうしても小学校区の学童保育所の利用を希望される場合は、お待ちいただく場合がある。

### 議会全員協議会の窓口業務を中心に

**問** 各事業の実施は職員がその場においてこそ成り立つものである。親切丁寧な窓口業務を中心に、その現場で起きていることを解決することが、一番の重点施策である。安定した窓口業務を目的に、議会全員協議会の出席者は、政策監以上のほうが良いと先般の定例会で質問し

**答** (町長)  
今回の案を大幅に見直すことは考えていない。パブコメの意見は参考にする。

### 秦荘支所のスタートは

**問** 庁舎統合に関する愛知ケジユールでは、秦荘庁舎の職員が愛知川庁舎へ移るのを令和6年の夏頃と予定している。このため、そのタイミングには秦荘庁舎が支所としてしっかりと稼働できることが肝要である。早い時期からその体制をスタートすることはひとつ大事な視点として捉えている。

**答** (町長)  
窓口業務をはじめとした現場における対応は非常に重要であると認識している。全員協議会は本会議と同様に重要な場である。大事なテーマであり比較的早いタイミングで議長に相談する。

**答** (町長)  
窓口業務をはじめとした現場における対応は非常に重要であると認識している。全員協議会は本会議と同様に重要な場である。大事なテーマであり比較的早いタイミングで議長に相談する。



録画配信はこちら

## 全国学習調査結果の総括と課題

**Q** 学力低下、将来に夢が持てない児童生徒の要因と対策は

**A** 減メディア・親読書の取り組みを一層推進する。

**問** 当町の小中学生の平均点は、全国を大幅に下回る県平均と比べても、更に低い傾向が長年続いている。根本的な分析や効果的な取り組みがなされていないのではないか  
**答** (教育長)  
学力向上は公立小中学校の最大のミッションであることを見直し、今後も最重要課題として取り組んでいく。学力向上には基礎、基本の定着、読解力・書く力の向上が必要であり、漢字学習・読解力ドリル・タブレットドリル等を活用し取り組む。さらに今年度からは「根拠、条件を明確にしながら自分の考えを表現する力」の向上を図るため、書く力の育成に重点的に取り組む。小中学校の学力向上担当の教員が集まり、学力向上推進リーダー会を立ち上げ、書くことに特化した町独自の「書くことパワーアップ問題」を作成し小中学校で取り組んでいく。

**問** 減メディア・親読書の取り組みを一層推進する。  
**答** (教育長)  
読書に親しんでもらうため、全ての小学校に図書指導員を配置している。また図書館司書による絵本の読み聞かせを幼稚園・保育園・小学校で実施している。

**問** 読書活動の実態把握について  
**答** (教育長)  
一か月間に一冊以上本を読んだ児童・生徒の割合は、小学生は98.2%、中学生は79.1%である。今後も子どもからお年寄りまで読書を楽しめることができるよう、まじじゅう読書の推進に努める。

**問** 学力低下や将来の夢が持てない児童生徒の要因と対策を問う。  
**答** (教育長)  
「将来の夢や目標を持っていきますか」という問に否定的に回答した児童・生徒の割合は、昨年度より増加しているが、町民意識調査では、肯定的な回答が少し上昇し、将来の夢や目標が持てるような機会が、少しずつ構築されると捉えている。

**問** 文科省は登校を基本的に捉えつつ、従来の画一的な教育から、一人ひとりに合わせた「個別最適な学び」へと転換する目標を掲げている。学校以外の受け皿を行政が率先して整える必要があると考えるが。  
**答** (町長)  
子どもの教育は町ぐるみで、部局横断的に連携し、かつ学校・園・家庭・地域・関係機関等が課題を共有理解し取り組むことが重要であり、その上実効性のある取り組みの推進を図るべきという提案であると認識する。

**問** 覚化、見える化したとは到底言えないのではないか  
**答** (町長)  
20年後はどのような町の姿を想定しているのか。  
**問** 今回のパブコメで提出された住民の意見を含め、大幅に見直しはどうか。  
**答** (町長)  
今回の案を大幅に見直すことは考えていない。パブコメの意見は参考にする。

**問** グランドデザイン2040(計画編)と(まんが編)はともに当町の上っ面しか見ていない作品に過ぎず、20年後の当町の姿を視



3月に策定されたグランドデザイン2040